

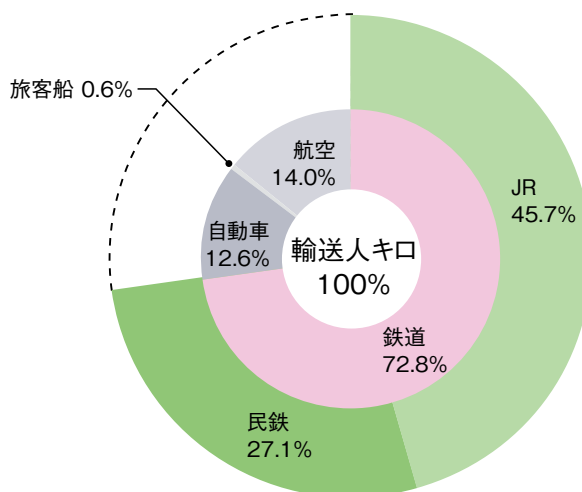
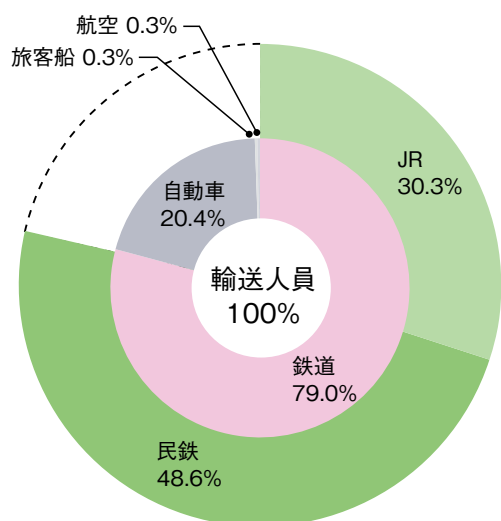
3 交通機関として民鉄が担う役割

3-(1) 旅客の公共輸送機関別分担率

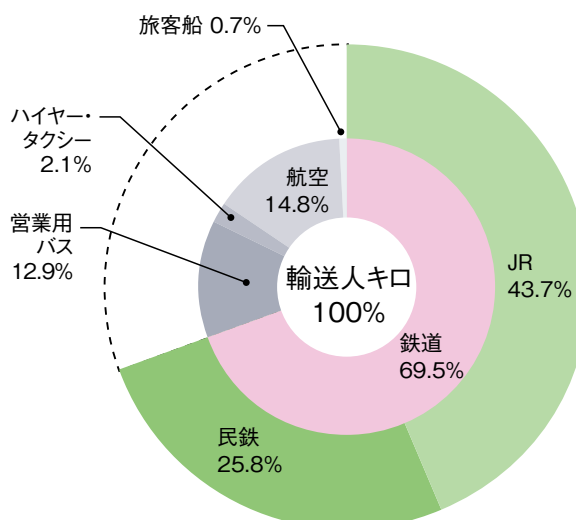
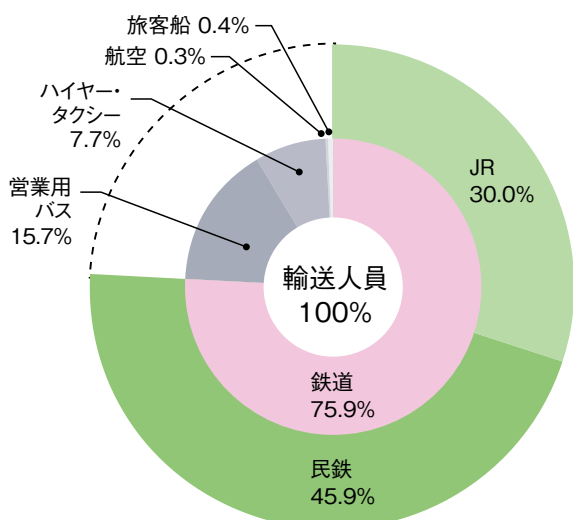
2016年度の国内旅客輸送における民鉄の輸送分担率は輸送人員ベースで48.6%、輸送人キロベースで27.1%、JRと合わせた鉄道の分担率は約7割以上を占めています。

環境保護やエネルギー効率などの面から、公共交通機関の利用促進が求められているなか、民鉄が旅客輸送の重責を担っていることが読み取れます。

旅客の公共輸送機関別分担率(2016年度)



旅客の公共輸送機関別分担率(2005年度)



(注)円グラフの割合は、四捨五入のため、合計は必ずしも100%にならない。

資料:国土交通省「数字でみる鉄道2018」

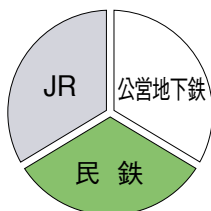
「数字でみる鉄道2008」

3-(2) 民鉄の輸送人員の割合(三大都市圏)

東京・名古屋・大阪を中心とする三大都市圏の鉄軌道の年間輸送人員(2013年度)は約207億1,256万人(1日平均約5,674万人)で、そのうち民鉄の占める割合は、首都交通圏で53.9%、中京交通圏で40.8%、京阪神交通圏で45.9%となっており、大都市圏の基幹的な交通機関として、大きな役割を担っています。

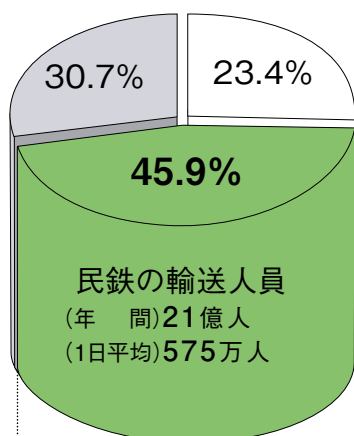
三大都市交通圏の交通機関別鉄軌道輸送人員の割合(2013年度)

■凡例



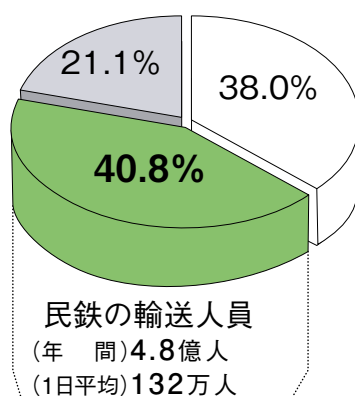
京阪神交通圏の輸送人員

(年 間)46億人
(1日平均)1,252万人



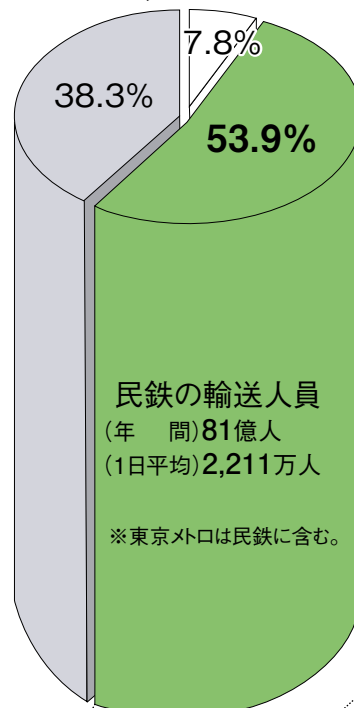
中京交通圏の輸送人員

(年 間)12億人
(1日平均)322万人



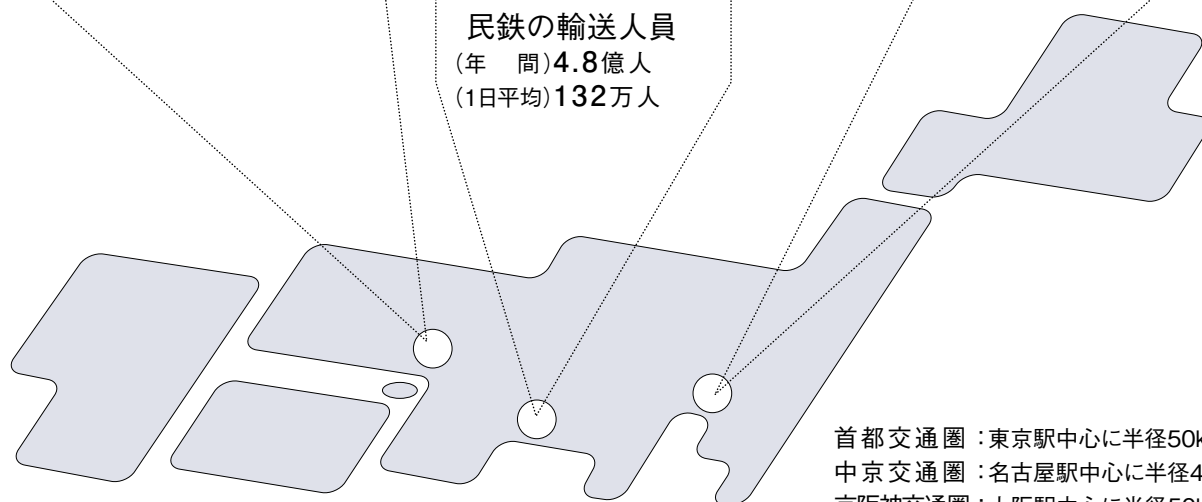
首都交通圏の輸送人員

(年 間)149億人
(1日平均)4,100万人



民鉄の輸送人員
(年 間)81億人
(1日平均)2,211万人

※東京メトロは民鉄に含む。



首都交通圏：東京駅中心に半径50km
中京交通圏：名古屋駅中心に半径40km
京阪神交通圏：大阪駅中心に半径50km
但し、特に交通不便な地域及びその大半が圏外にある行政区域は除外

資料：国土交通省「平成25年度 鉄道統計年報」
「平成27年版 都市交通年報」

(注)円グラフの割合は年間の人員による。
四捨五入のため、合計は必ずしも100%にならない。